

ブラジル
アマパ・イニシアティブ
現地からのお便り

2016年1月
コンサベーション・インターナショナル

保護地域をよりよく管理していくための広報ネットワークの支援

保護地域は、人々が豊かに幸せに暮らしていく上で大切な役割を果たしていますが、そのことは、残念ながら十分に理解されていません。自然資源の利用が制限された手を触れてはいけない場所であり、地域の経済発展を妨げる場所と考えられがちです。

プロジェクトで保全に取り組んでいるアマパ州の2つの保護地域についても、地元の持続可能な開発戦略を進めることに加えて、保護地域についての広報活動が戦略的に重要です。広報活動を通じて人々の意識を変えていくことで、社会的、経済的、環境的な利益を生み出すという保護地域の本来の機能を強化できると考えています。

現在、私たちは、広報計画を作成しています。今年の3月と4月、公的機関、NGO、伝統的なコミュニティが参加する、アマパ州の保護地域の広報計画作りのためのワークショップを開催する予定です。そして、今年5月には広報計画を完成させ、実施に移します。

森林管理とアグロエコロジープログラムの支援

食料や製品を作るために土地や森を使うことは、地元が社会的、経済的に発展するために大切です。持続可能な形で生産できれば、自然のバランスを守りながら人々の幸せを高められます。森の恵みを使って生産するために私たちが進めてきた活動を紹介します。

持続可能な森林管理のための研修

11月23日から28日に、持続可能な森林管理のための研修を開催しました。アマパ州有林とアマパ国有林の周りがあるセハ・ド・ナビオ村から、15人が参加しました。会場は、お隣のパラ州にある熱帯森林研究所（IFT）の研修センターです。参加者の多くが、アマパ州森林研究所やチコメンデス生物多様性保全研究所に所属する専門家でした。



意思決定者のための持続可能な森林管理研修の参加者（写真：Photo: IEF / Adriana）

研修は、低インパクトな伐採と低インパクトな非木材林産物の採集の習得を目的として行われました。セハ・ド・ナビオ村では、コミュニティによる森林管理のパイロットプロジェクトが実施されているので、プロジェクトでの意思決定を改善する上で、とても重要です。研修では、森林管理のためのツールやモニタリングなどについて学び、議論しました。



研修の活動の様子（写真：IEF / Adriana）

次のステップは、セハ・ド・ナビオの森林資源についての経済調査を行い、森林資源の活用方法の戦略を作成することです。今年の後半には、持続可能な森林管理から、コミュニティが経済的、社会的便益を受け始められると期待しています。

アマパ国有林とアマパ州有林における非木材林産物の管理

10月30日から11月8日にかけて、アマパ州の農業フェアで、アマパ州の保護地域の住民からなる「ボン・スセソ協会」が工芸品や手作り製品を展示しました。コミュニティがアンディローバ、コパイバ、ファヴァ、ブリューの木などの木から作ったものです。



第51回アマパ州農業フェアで手作りの森の恵みを使った手作り製品を展示するボン・スセソ協会の女性（写真：CI/Josinei Garcia）

手作りの製品は、化粧品、薬、照明用具などです。このフェアでは、467個の製品のうち、84%に当たる390個が売れました。この試みは前向きにとらえられています。コミュニティが森を持続可能な形で使って、経済的な利益を生み出すことができるからです。

次のステップは、アマパ州内での販売用に新たな製品を作っていくこと、生産過程を改善できるように能力を高めていくこと、コミュニティ管理のトレーニングを行うこと、インフラを整えていくことです。これらは、森のバランスを崩すことなく、森を使ってコミュニティ全体に利益を生み出す、社会の信頼関係を高めていける方法です。



第 51 回アマパ州農業フェアで販売された森の恵みを使った手作りの製品（写真：CI/Josinei Garcia）

アグロエコロジーのワークショップ

12 月 5 日から 9 日に、有機堆肥の実務、生物肥料作り、害虫駆除のトレーニングを行いました。アマパ国有林とアマパ州有林があるボン・スセソ村から、18 家族が参加しています。このトレーニングの目的は、殺虫剤を使わずに低炭素農業を行うための有機肥料作りなどを教えることです。さらに、害虫や病気を駆除する技術も伝えました。



有機堆肥、生物肥料、害虫駆除のトレーニングに参加するボンスセソ村の人々（写真：ボン・スセソ協会 / Elma）

次のステップは、アグロフォレストリーの家庭菜園を増やしていくことです。家族の食料安全保障と、あまった農産品を売ることによって所得を増やせることが目標です。

最後に

私たちはこのプロジェクトを、計画に沿って、コミュニティや政府との強いパートナーシップを通して進めています。「国家植民農地改革院」と新たに正式なパートナーシップも結びまし

た。地方政府との良好な協力関係は、よい成果を生み出しています。私たちは、自然の恵みを守ることを通して人間の幸せを高める政策を作り、実施していくというプロジェクトの大きな目標に届きつつあると考えています。